

福岡医発第262号(地)
平成19年 5月11日



各 医 師 会 長 殿

福岡県医師会
会長 横倉 義 武
(公 印 省 略)

平成19年度がん診療及び循環器病診療に従事する
医師等の研修について

標記の件につきまして、がん対策及び循環器病対策の一環として実施される旨、福岡県保健福祉部医療指導課より別紙のとおり通知がありましたのでご連絡いたします。

つきましては、会員各位へ周知方よろしくお願い申し上げます。

なお、お問い合わせ並びにお申し込みにつきましては、直接、福岡県保健福祉部医療指導課医務係 (TEL 092-643-3273、担当：小林) となっておりますことにご留意下さい。

記

1 がん診療に従事する医師等の研修

- (1) 申込書類 各3部 (うち2部は原本)
- 受講者調査 別添実施要領の別紙様式による
- 添付資料 ① 所属施設長の推薦理由書 (施設長印のあるもの)
- ② 履歴書 (写真貼付のこと)
- ③ 医師の場合は、希望研修課程を選んだ理由

※ 添付資料はA4版とするが、様式は定められていないので適宜作成のこと。

(2) 受講申込占め切り (県必着)

第1回募集分 平成19年 6月15日 (水)

小郡三井医師会より

担当理事 永田正和



第2回募集分 平成19年10月12日（金）

2 循環器病診療に従事する医師等の研修

- (1) 申込書類 各3部（うち2部は原本）
受講者調書 別添実施要領の別紙様式による
添付資料 ① 所属施設長の推薦理由書（施設長印のあるもの）
 ② 履歴書（写真貼付のこと）
 ③ 研修を希望する理由書（研修希望内容等を具体的に）

※ 添付資料はA4版とするが、様式は定められていないので敵宜作成のこと。

(2) 受講申込締め切り（県必着）

第1回募集分 平成19年 5月18日（金）

第2回募集分 平成19年10月12日（金）

3 問い合わせ先及び提出先（1,2とも共通）

〒812-8577 福岡県保健福祉部医療指導課医務係 担当：小林
（郵便番号を記入すれば、住所記載不要）

TEL：092-643-3273

FAX：092-643-3277

提出にあたっては、締め切り期日を厳守のうえ、連絡先（担当部課、担当者、電話番号等）を記入すること。



19医指第471号

平成19年5月9日

社団法人福岡県医師会長
社団法人福岡県病院協会長
社団法人福岡県私設病院協会長
全国自治体病院協議会福岡県支部長 殿
福岡県対がん協会長
福岡県看護協会長
福岡県臨床衛生検査技師会長
福岡県放射線技師会長

福岡県保健福祉部医療指導課長
(医 務 係)

平成19年度がん診療及び循環器病診療に
従事する医師等の研修について

このことについては、がん対策及び循環器病対策の一環として例年実施されているところですが、平成19年度においても、別添実施要領に基づき実施されますので、お知らせします。

つきましては、貴会会員への周知をよろしくお願いいたします。

なお、受講申込にあたっては、下記事項に留意願います。

記

1 がん診療に従事する医師等の研修

(1) 申込書類 各3部(うち2部は原本)

受講者調書 別添実施要領の別紙様式による

添付資料 ① 所属施設長の推薦理由書(施設長印のあるもの)

② 履歴書(写真貼付のこと)

③ 医師の場合は、希望研修課程を選んだ理由

※添付資料はA4版とするが、様式は定められていないので適宜作成のこと。



(2) 受講申込締め切り (県必着)

第1回募集分 平成19年 6月15日 (水)

第2回募集分 平成19年10月12日 (金)

2 循環器病診療に従事する医師等の研修

(1) 申込書類 各3部 (うち2部は原本)

受講者調書 別添実施要領の別紙様式による

添付資料 ① 所属施設長の推薦理由書 (施設長印のあるもの)

② 履歴書 (写真貼付のこと)

③ 研修を希望する理由書 (研修希望内容等を具体的に)

※添付資料はA4版とするが、様式は定められていないので適宜作成のこと。

(2) 受講申込締め切り (県必着)

第1回募集分 平成19年 5月18日 (金)

第2回募集分 平成19年10月12日 (金)

3 問い合わせ先及び提出先 (1, 2とも共通)

〒812-8577 福岡県保健福祉部医療指導課医務係 担当: 小林
(郵便番号を記入すれば、住所記載不要)

TEL: 092-643-3273

FAX: 092-643-3277

提出にあたっては、締め切り期日を厳守のうえ、連絡先 (担当部課、担当者、電話番号等) を記入すること。

がん診療に従事する医師、看護師、診療放射線技師、
臨床検査技師及びがん登録実務者の研修実施要領

平成19年4月23日医政発第0423003号

厚生労働省医政局

がん診療に従事する医師、看護師、診療放射線技師、
臨床検査技師及びがん登録実務者の研修実施要領

1. 目 的

わが国のがん対策の一環として、がん診療に従事する医師、看護師、診療放射線技師、臨床検査技師及びがん登録実務者に対し、高度の専門的知識及び技術を修得させ、専門職員の充実を図ることを目的とする。

2. 対 象 者

(1) 医 師

がん診療に従事する者で、医師の資格取得後2年以上の実務経験を有し、研修実施施設が別に定める受講対象者の要件を備え、所属施設長又は研修実施施設長が推薦する者

(2) 看 護 師

がん診療に従事する者で、看護師の資格取得後5年以上の実務経験を有し、研修実施施設が別に定める受講対象者の要件を備え、所属施設長又は研修実施施設長が推薦する者

(3) 診療放射線技師

がん診療に従事する者で、診療放射線技師の資格取得後2年以上の実務経験を有し、研修実施施設が別に定める受講対象者の要件を備え、所属施設長又は研修実施施設長が推薦する者

(4) 臨床検査技師

がん診療に従事する者で、臨床検査技師の資格を有し、研修実施施設が別に定める受講対象者の要件を備え、所属施設長又は研修実施施設長が推薦する者

(5) がん登録実務者

院内がん登録及び地域がん登録の実務に従事する者で、研修実施施設が別に定める受講対象者の要件を備え、所属施設長又は研修実施施設長が推薦する者

3. 研修実施施設

国立がんセンター（中央） 東京都中央区築地5の1の1 電話 [03] (3542)2511

国立がんセンター（東） 千葉県柏市柏の葉6の5の1 電話 [04] (7133)1111

※研修は主として中央病院で実施するが、一部東病院で行うことがある。

（看護師及び放射線技師については一部の研修を東病院で行う。）

4. 研修定員・研修内容

職種別の研修定員、研修課程、研修内容は受講者の構成等を考慮して研修実施施設において別に定めるものとする。

5. 研修実施期間

研修実施期間については、研修実施施設において別に定めるものとする。

6. 各都道府県の推薦

都道府県は、研修実施施設が別に定める必要書類を作成し、受講者を推薦すること。

受講者の推薦にあたっては、各都道府県におけるがん診療施設の現状及び将来計画等を勘案し、研修効果が十分に期待できるよう配慮すると共に受講対象者の要件を備えているかどうか審査を行うこと。

なお、受講者の推薦締切期日については、別に定めるものとする。

7. 受講者の選定及び通知

各都道府県及び研修実施施設長より推薦された者のうちから決定し、都道府県又は研修実施施設長を通じて所属施設長及び受講者に通知する。

8. 経 費

受講料は無料とするが、受講地への旅費、滞在費等は受講者側の負担とする。

9. 宿泊施設

宿泊施設については、研修実施施設において斡旋しないので、受講者において選定すること。

10. その他

(携帯するもの)

【全職種共通】筆記用具、印鑑、保険証

【医師、看護師、診療放射線技師】白衣、フィルムバッジ

【臨床検査技師】12色鉛筆、白無地ノート

循環器病診療に従事する医師、看護師、診療放射線技師、
臨床検査技師及び臨床工学技士の研修実施要領

平成19年4月23日医政発第0423003号

厚生労働省医政局

循環器病診療に従事する医師、看護師、診療放射線技師、
臨床検査技師及び臨床工学技士の研修実施要領

1. 目 的

わが国の循環器病対策の一環として、循環器病診療に従事する医師、看護師、診療放射線技師、臨床検査技師及び臨床工学技士に対し、高度の専門的知識及び技術を修得させ、専門職員の技術・知識の向上を図ることを目的とする。

2. 対 象 者

(1) 医 師

循環器病診療に従事する者で、医師の資格取得後2年以上の実務経験を有し、研修実施施設が別に定める受講対象者の要件を備え、所属施設長又は研修実施施設長が推薦する者

(2) 看 護 師

循環器病診療に従事する者で、看護師の資格取得後2年以上の実務経験を有し、研修実施施設が別に定める受講対象者の要件を備え、所属施設長又は研修実施施設長が推薦する者

(3) 診療放射線技師

循環器病診療に従事する者で、診療放射線技師の資格取得後2年以上の実務経験を有し、研修実施施設が別に定める受講対象者の要件を備え、所属施設長又は研修実施施設長が推薦する者

(4) 臨床検査技師

循環器病診療に従事する者で、臨床検査技師の資格取得後2年以上の実務経験を有し、研修実施施設が別に定める受講対象者の要件を備え、所属施設長又は研修実施施設長が推薦する者

(5) 臨床工学技士

循環器病診療に従事する者で、臨床工学技士の資格取得後2年以上の実務経験を有し、研修実施施設が別に定める受講対象者の要件を備え、所属施設長又は研修実施施設長が推薦する者

3. 研修実施施設

国立循環器病センター 〒565-8565 大阪府吹田市藤白台5丁目7-1
電話 [06] (6833)5012

4. 研修定員・研修内容

職種別の研修定員、研修課程、研修内容は受講者の構成等を考慮して研修実施施設において別に定めるものとする。

5. 研修実施期間

研修実施期間については、研修実施施設において別に定めるものとする。

6. 各都道府県の推薦

都道府県は、研修実施施設が別に定める必要書類を作成し、受講者を推薦すること。

受講者の推薦にあたっては、各都道府県における循環器病診療施設の現状及び将来計画等を勘案し、研修効果が十分に期待できるよう配慮すると共に受講対象者の要件を備えているかどうか審査を行うこと。

なお、受講者の推薦締切期日については、別に定めるものとする。

7. 受講者の選定及び通知

各都道府県及び研修実施施設長より推薦された者のうちから決定し、都道府県又は研修実施施設長を通じて所属施設長及び受講者に通知する。

8. 経 費

受講料は無料とするが、受講地への旅費、滞在費等は受講者側の負担とする。

9. 宿泊施設

原則として、幹旋しない。(但し、希望者は受講決定後、研修実施施設へ別途相談すること。)

10. その他

(1) 携帯するもの

白衣、筆記用具、印鑑

フィルムバッジ（医師、診療放射線技師のみ）、その他研修実施に必要なもの

(2) 研修期間中の受講者に対する一切の責任は、所属施設長が負うものとする。

事 務 連 絡

平成19年4月23日

各都道府県衛生主幹（部）局

事務担当者 殿

厚生労働省 医政局

総務課 医療係長

平成19年度がん診療に従事する医師等研修及び
循環器病診療に従事する医師等研修の実施について

標記について、平成19年4月23日医政発第0423003号通知の別添「がん診療に従事する医師、看護師、診療放射線技師、臨床検査技師及びがん登録実務者の研修実施要領」及び「循環器病診療に従事する医師、看護師、診療放射線技師、臨床検査技師及び臨床工学技士の研修実施要領」により行うこととしておりますが、平成19年度の「研修内容」、「研修実施時期・推薦締切期日」及び「推薦時提出必要書類（受講者調書等）」については、別紙・別記・別紙様式のとおりとなりますので、貴管下関係機関に周知のうえ、受講希望者をとりまとめ、所定の期日までに推薦していただきますようお願いします。（受講者調書に所属施設長の推薦理由書等添付資料を添えて、医政局総務課あてにご提出ください。）

なお、平成16年4月1日からの国立病院等の独立行政法人化に伴い、各都道府県内の国立病院機構に勤務する者についても、とりまとめをお願いします。

別記

平成19年度がん診療に従事する医師等研修「研修実施時期」及び「推薦締切期日」

職 種	期 間	19年 4	5	6	7	8	9	10	11	12	20年 1	2	3	備 考
医 師	3ヵ月					8月27日			11月22日		1月7日		3月28日	
看 護 師	講義研修 4日間						10月2日 5日							
	実地研修 3ヵ月							10月9日		12月28日	1月7日		3月28日	
診療放射線技師	1ヵ月						10月1日		11月2日					
	2週間						10月1日 12日							
臨床検査技師	3ヵ月						9月25日			12月21日	1月7日		3月28日	
がん登録実務者	1週間					8月27日 31日					1月21日 25日			
厚生労働省への 書類提出期日 (推薦締切期日)		第1回募集分 平成19年6月22日(金) 必着									第2回募集分 平成19年10月19日(金) 必着			

※看護師のがん化学療法看護コースの実地研修を受講するためには講義研修を修了している必要がありますので、19年度に当該コースの実地研修を希望する場合は、必ず講義研修についても受講の申し込みをしてください。

(別紙)

研修内容

医師

実施施設	期間	研修人員	備考
国立がんセンター	第1回:3ヶ月	24人	
	第2回:3ヶ月	24人	

※それぞれの課程ごとに定員があるので参照すること。

研修課程	定員		受講対象者の要件	研修内容
	第1回	第2回		
国立がんセンター				
1. 消化器がん画像診断課程	2	2	画像による消化器がん診断を希望するもの	消化器がんをはじめとする諸種消化器がんのX線等診断、特に早期がん発見のための診断技術修得を目的とする。
2. 消化器がん内視鏡課程	1	1	内視鏡による消化器がん診断治療を希望するもので経験年数3年以上、35歳未満の者	消化器がんの内視鏡診断とその治療の修得、特に早期消化器がん発見のための診断技術修得を目的とする。
3. 病理組織診断課程	2	2	人の腫瘍の病理診断の研修を希望し、病理診断を専門とする者	消化管(胃、大腸等)、肝、胆、膵、頭頸部、呼吸器、乳腺、泌尿生殖器、造血臓器及びその他の臓器に発生する腫瘍の肉眼並びに組織学的診断を修得し、早期発見、早期治療に有益な知見の会得を目的とする。
4. 細胞診断課程	1	1	がん細胞を診断、治療に応用する者	各種臓器がんの細胞による診断に必要な知識と能力の修得を目的とする。
5. 肺がん診断課程	2	2	胸部内科、胸部外科、気管食道科等で胸部診断を希望する者	診断 X線読影、肺、気管支動脈造影、気管支ファイバースコープ、擦過細胞診等の技術修得を目的とする。
6. 子宮がん診断課程	1	1	婦人科医師	コルポスコピー、細胞診、組織診の三者を中心として研修を行い、子宮がん診断の向上を目的とする。
7. 外科的療法課程				
胃 外科コース	1	1		
大腸 外科コース	1	1		
食道外科コース	1	1		
肝臓外科コース	1	1	総合病院の一般外科又は、専門外科を3年以上修練した外科医師	研修生の希望分野に従い、専門医をカウンターパートとして手術の見学、時として介助、討論会への参加および病棟におけるベッドサイドの実地研修を行う。
乳腺外科コース	1	1		
胸部外科コース	1	1		
泌尿器科コース	1	1		
整形外科コース	1	1		
8. 放射線療法課程	1	1	放射線治療に関与する医師	放射線治療の実習、特に高エネルギー加速器及び密封小線源による治療技術、加温療法
9. 薬物療法(化学療法)課程	3	3	造血器腫瘍又は固形腫瘍の薬物療法骨髄移植等の臨床を行っている者	研修生の希望分野(造血器腫瘍、肺がん、消化器がん、乳がん、骨髄移植など)に従い、専門医をカウンターパートとして、薬物療法の臨床の実地研修を行う。
10. 頭頸部がん課程	1	1	頭頸部がん診療に従事する者	臨床に即応した討論を行い、当該領域診療の基本と特異性を理解せしめ、診療に参加させて実技の向上を目的とする。
11. 小児腫瘍(内科系)課程	1	1	小児がんの臨床を希望する者及び骨髄移植を行う希望のある者	小児がん一般の診療及び治療(特に骨髄移植、無菌室治療等)の技術を修得する。
12. 皮膚科腫瘍課程	1	1	皮膚科医師(原則として35歳未満の者)	皮膚がんの診断、手術及び抗がん剤治療等による集学的治療を研修する。
(12課程)	24	24		

研修内容

看護師

研修コース		期間	研修人員	備考
がん化学療法看護コース	講義研修	4日間	35人	
	実地研修： 外来化学療法	第1回：3ヶ月	2人	
		第2回：3ヶ月	2人	
	実地研修： 一般化学療法	第1回：3ヶ月	6人	
		第2回：3ヶ月	6人	
造血幹細胞移植看護コース	実地研修	第1回：3ヶ月	2人	
		第2回：3ヶ月	2人	

研修課程		受講対象者の要件	研修内容
国立がんセンター がん化学療法看護コース	講義研修	1) 都道府県および地域がん診療連携拠点病院でがん診療に従事する看護師で、看護師資格取得後5年以上の実務経験を有する者 2) 受講する研修に関する分野の実務経験を3年以上有する者 3) 所属施設のがん看護において指導的立場にあり、研修後に施設内外の研修企画・実施やがん看護の実践に従事する者 上記1)～3)の要件を備え、所属施設長が推薦する者	がん化学療法の基礎的知識、臨床薬理学の基礎・薬剤情報の活用方法、抗がん剤の安全な取り扱い、代表的な副作用対策とセルフケア支援、抗がん剤の投与管理、レジメンのアセスメントとセルフケア支援、がん化学療法における意思決定支援とチーム医療、外来化学療法の実際
	実地研修	講義研修を受講していること	・ 所属施設の研修企画や看護実践に関する課題の明確化 ・ 配置された部署内での実地研修 ・ 課題に対するまとめと報告
造血幹細胞移植看護コース	実地研修	1) 都道府県および地域がん診療連携拠点病院でがん診療に従事する看護師で、看護師資格取得後5年以上の実務経験を有する者 2) 受講する研修に関する分野の実務経験を3年以上有する者 3) 所属施設のがん看護において指導的立場にあり、研修後に施設内外の研修企画・実施やがん看護の実践に従事する者 上記1)～3)の要件を備え、所属施設長が推薦する者	・ 所属施設の研修企画や看護実践に関する課題の明確化 ・ 配置された部署内での実地研修 ・ 課題に対するまとめと報告

研修内容

診療放射線技師

実施施設	期間	研修人員	備考
国立がんセンター	1ヶ月	9人	内訳 消化管 2人 CT 1人 MRI 1人 RI 2人 治療 3人
	2週間	15人	

研修課程	受講対象者の要件	研修内容
国立がんセンター 1. 1ヶ月課程(専門課程)	診療放射線技師として、3年以上の実務経験を有し、下記設備のうち1つを有している施設又は設置しようとする施設に勤務している者	実習を中心とし、専門技術修得を図る。
(1)消化管	(消化管検査装置)	消化器検査装置の操作方法及び胃撮影技術
(2)CT	(CT検査装置)	CT、MRI検査装置の操作方法および撮影技術
(3)MRI	(MRI検査装置)	動態検査、シンチカメラ及びPET CTの操作
(4)RI	(RI検査装置)	照射技術、測定技術、治療計画、装置の保守
(5)治療	(高エネルギー照射装置)	
2. 2週間課程(一般課程)	診療放射線技師として、2年以上の実務経験を有し、高エネルギー放射線治療、がん検診、CT、MRI、RI検査等の設備がある施設又はこれから設備しようとする施設に勤務している者	新しい知識及び基本的技術の修得を図る。次の講義及び技術の修得を行う。 ①放射線管理、放射線治療計画②消化管撮影技術、CT撮影技術、放射線照射技術、放射線測定法③RI検査、MRI検査、放射線設備等

研修内容

臨床検査技師

実施施設	期間	研修人員	備考
国立がんセンター	第1回:3ヶ月	2人	
	第2回:3ヶ月	2人	

研修課程	受講対象者の要件	研修内容
国立がんセンター 1. 細胞診課程(3ヶ月) 2. 超音波検査課程(3ヶ月)	臨床検査技師免許取得後、3年以上臨床検査に従事し、なおかつ細胞診1年以上、又は病理及び血液検査2年以上の実務に従事している者 臨床検査技師免許取得後、3年以上臨床検査に従事し、なおかつ超音波検査を1年以上の実務に従事している者	実際の標本を見ながら教育 (1)細胞診に必要な固定、染色等の技術を修得する。 (2)相当数の細胞診標本を鏡検、スクリーニング出来るようにする。 実際に操作し教育 (1)超音波検査に必要な学術的知識、技術を修得させる。 (2)画像診断についてマスターする。

研修内容

がん登録実務者

実施施設	期間	研修人員	備考
国立がんセンター	第1回:1週間	20人	
	第2回:1週間	20人	

研修課程	受講対象者の要件	研修内容
国立がんセンター がん登録実務者課程	次のいずれかの条件を満たし、がん登録の実務を担当する者、もしくはがん登録の管理者で実務内容を把握する必要のある者 1. がん登録または病歴管理の実務経験が1年以上の者 2. 看護師、保健師の資格を持つ者 3. その他所属長が推薦する者	がん登録で必要とされる基礎知識と技術の習得を目標とする。 ・がん登録に必要ながんの基礎知識 ・がん登録概論 ・がん登録の標準登録項目 ・国際疾病分類腫瘍学第3版 ・病期分類について:臨床進行度分類、UICC、TNM分類、取扱い規約について(主に主要5部位:胃癌、大腸癌、肝臓癌、肺癌、乳癌) ・コーディング演習(局在コード、形態コード、病期、その他の登録項目) ・がん登録における情報管理・利用について

受 講 者 調 書

〔 医師、看護師、診療放射線技師、臨床検査技師、がん登録実務者 〕

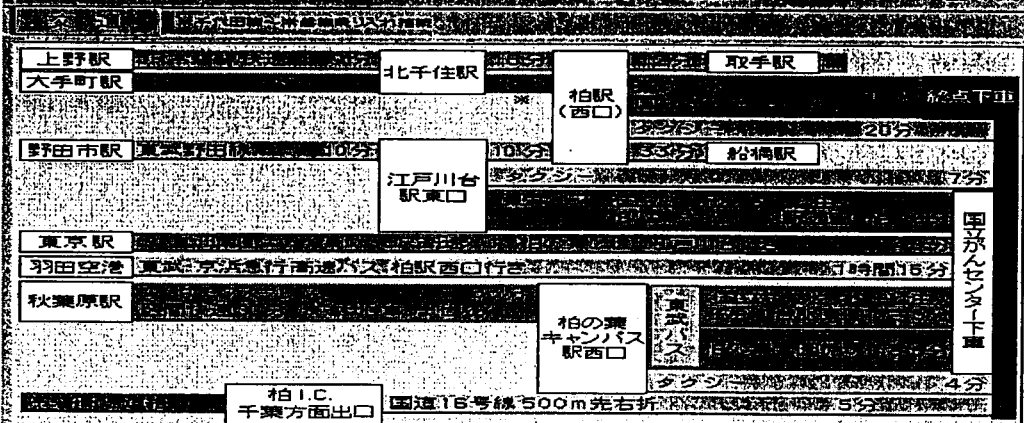
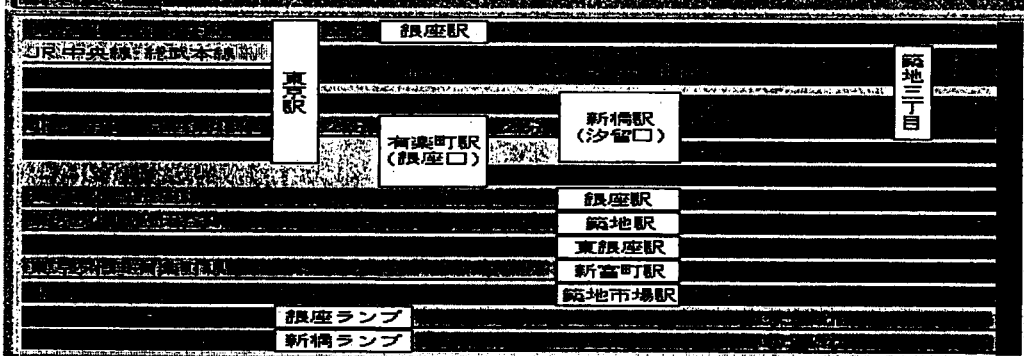
(進達都道府県名：)

(研修実施施設名：国立がんセンター)

1 受 講 者 氏 名	(男 ・ 女)		
2 生 年 月 日	昭和	年	月 日 (満 歳)
3 所 属 施 設	(1) 施 設 名		
	(2) 所 在 地	〒	
	(3) 連 絡 先	Tel. — — (内線)	
4 従 事 職 務 内 容	現在の所属部署		
	従 事 職 名		
	具 体 的 な 職 務 内 容	(希望課程の経験及び関連機器の取扱経験等)	
5 経験年数 (うち研修希望課程)	臨床 (従事) 経験	年	ヵ月 (年 ヵ月)
6 卒 業	(1) 学 校 名		
	(2) 年 月 日	昭和・平成	年 月 日
7 免 許	(1) 番 号	第	号
	(2) 登録年月日	昭和・平成	年 月 日
8 受 講 希 望	(1) 受講施設		
	(2) 研修課程		
	(3) 受講時期		
9 これまでに当該研修受講の有無	有 無	研 修 施 設	研 修 課 程
10 都道府県の推薦優先順位			
11 都道府県の今回までの推薦回数			
12 添 付 資 料	(1) 所属施設長の推薦理由書 (施設長印のあるもの) (2) 履歴書 (写真貼付のこと) (3) 医師の場合は、希望研修課程を選んだ理由書		
13 備 考			

- 注 (1) 受講者調書及び添付資料は各2部 (原本) 提出すること。
 (2) 該当する職種 [医師、看護師、…、がん登録実務者] に○印を付すこと。
 (3) 「10、11」欄については都道府県が記入すること。
 (4) 「11 都道府県の今回までの推薦回数」欄については受講申請したが受講決定をみななかった場合、その申請回数等を記入すること。
 (5) 研修実施施設長推薦者については「10、11」欄は記入しないこと。
 (6) 「12 添付資料」についてはA4版とするが、様式は特に定めないので適宜作成すること。
 なお、履歴書の記載内容として取得資格及び研修会等の受講歴も記入すること。
 (7) 医師以外の職種については希望する研修内容を「13 備考」欄に記入すること。
 (8) 国立がんセンターの受講希望者は履歴書にカラー写真を貼付けること。
 また、履歴書の氏名欄にローマ字綴りも併記すること。(名札作成のため)
 (例) 鈴木太郎 T. SUZUKI

研修実施施設案内

[illegible]

平成19年度循環器病診療に従事する医師等研修「研修実施時期」及び「推薦締切期日」

職 種	期 間	研 修 課 程	1 回当たりの 定 員	平成19年								平成20年			
				4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
(1) 医 師	2週間・3ヵ月	1. 心 臓 血 管 内 科	(36) 人 3 (短期2) (長期1)			6月中旬	6月下旬		9月上旬				1月中旬	1月下旬	3月下旬
		2. 脳 血 管 内 科	3 (短期2) (長期1)												
		3. 高 血 圧 ・ 腎	3 (短期2) (長期1)												
		4. 動脈硬化・代謝	3 (短期2) (長期1)												
		5. 小 児 循 環 器 科	3 (短期2) (長期1)												
		6. 心 臓 血 管 外 科	3 (短期2) (長期1)												
		7. 脳 血 管 外 科	3 (短期2) (長期1)												
		8. 麻 酔 科	3 (短期2) (長期1)												
		9. 放 射 線 科	3 (短期2) (長期1)												
		10. 予 防 検 診	3 (短期2) (長期1)												
		11. 周 産 期 科	3 (短期2) (長期1)												
		12. 病 理	3 (短期2) (長期1)												
(2) 看 護 師	2 週 間	1. C C U	(15) 人 3				7月中旬	7月下旬					2月中旬	2月下旬	
		2. I C U	3												
		3. S C U	3												
		4. N C U	3												
		5. 乳幼児病棟課程 (PICU)	3												
(3) 診療放射線 技 師	2 週 間	診 療 放 射 線	5 人			7月上旬	7月中旬					2月上旬	2月中旬		
(4) 臨 床 検 査 技 師	2週間・1ヵ月	1. 臨 床 検 査	(6) 人 3 (短期2) (長期1)			7月上旬	7月中旬	7月下旬				2月上旬	2月中旬	2月下旬	
		2. 生 理 機 能 検 査	3 (短期2) (長期1)												
(5) 臨 床 工 学 技 士	2 週 間	臨 床 工 学	2 人			7月上旬	7月中旬					2月上旬	2月中旬		
厚生労働省への書類提出期日（推薦締切期日）				第1回募集分 平成19年5月21日（月）必着						第2回募集分 平成19年10月19日（金）必着					

別紙

研 修 内 容

I 医 師

研 修 課 程	定 員		受講対象者の要件	研 修 内 容
	第 1 回	第 2 回		
1 心臓血管内科課程 (1) 長期研修コース (期間 3ヵ月) (2) 短期研修コース (期間 2週間)	(3) 1 2	(3) 1 2	心臓血管内科の診療経験を1年以上有する者	(1) 長期研修コース 主として病棟において、心臓血管疾患一般の診断及び治療の技術を修得し同時に下記(※)の部分の見学研修を行う。 (2) 短期研修コース 主として下記(※)の部分①～⑤のうち、希望するものを選択し、2週間の見学研修を行う。 ※ ①心臓カテーテル検査(PTCA、アブレーション) ②心エコー図、心不全、心臓移植 ③CCU(Coronary Care Unit) ④心臓リハビリテーション、呼吸・肺循環 ⑤大血管疾患、末梢血管疾患
2 脳血管内科課程 (1) 長期研修コース (期間 3ヵ月)	(3) 1	(3) 1	脳血管障害についての診療経験を1年以上有する者	(1) 長期研修コース 主としてSCU(Stroke Care Unit、脳卒中集中治療室)において、脳血管障害急性期の診断及び治療技術を修得し同時に下記(※)の補助診断法①～⑤の見

研 修 課 程	定 員		受講対象者の要件	研 修 内 容
	第 1 回	第 2 回		
(2) 短期研修コース (期間 2 週間)	2	2		学を行う。 (2) 短期研修コース 上記 S C U での診断、治療を研修すると同時に、下記 (※) の補助診断法①～⑤のうち希望するものを選択し、2 週間の見学研修を行う。 ※ ①脳血管撮影 (超選択的血栓溶解療法を含む) ② C T ・ M R I 検 査 (D W I を含む) ③脳循環測定 (S P E C T 、 P E T) ④超音波断層・ドプラー検査 ⑤脳波、脳磁図
3 高血圧・腎 課程	(3)	(3)	高血圧・腎疾患についての診療経験を 1 年以上有する者	
(1) 長期研修コース (期間 3 ヶ月)	1	1		(1) 長期研修コース 主として病棟において、高血圧、腎疾患、及び関連する循環器疾患の病態、診断、治療を研修する。希望者には透析療法に関する研修を行う。
(2) 短期研修コース (期間 2 週間)	2	2		(2) 短期研修コース 主として病棟において、高血圧、腎疾患、及び関連する循環器疾患の病態、診断、治療の研修を行う。希望者には透析療法に関する見学研修を行う。

研 修 課 程	定 員		受講対象者の要件	研 修 内 容
	第 1 回	第 2 回		
4 動脈硬化・代謝 課程 (1) 長期研修コース (期間 3ヵ月) (2) 短期研修コース (期間 2週間)	(3) 1 2	(3) 1 2	動脈硬化・代謝についての診療経験を1年以上有する者	(1) 長期研修コース 主として病棟において、糖尿病、高脂血症、肥満、その他動脈硬化・代謝疾患の診断・治療の技術を修得し、同時に下記(※)の研修を行う。 (2) 短期研修コース 主として病棟において、上記疾患の病態把握について研修し、同時に希望に応じて下記(※)の項目の見学研修を行う。 ※ ①インスリン感受性試験 ②非侵襲的動脈硬化診断 ③plasmapheresis による高脂血症の治療法
5 小児循環器科課程 (1) 長期研修コース (期間 3ヵ月) (2) 短期研修コース (期間 2週間)	(3) 1 2	(3) 1 2	小児循環器科の診療経験を1年以上有する者	(1) 長期研修コース 主として病棟において、小児期心疾患の診断及び治療の技術を研修し、同時に下記(※)の補助診断法①～⑤の研修を行う。 (2) 短期研修コース 主として病棟において、小児期心疾患の診断及び治療を研修すると同時に、下記①～⑤のうち希望するものを選択し、2週間の見学研修を行う。

研 修 課 程	定 員		受講対象者の要件	研 修 内 容
	第1回	第2回		
6 心臓血管外科課程 (1) 長期研修コース (期間 3ヵ月) (2) 短期研修コース (期間 2週間)	(3) 1 2	(3) 1 2	心臓血管外科の診療経験を1年以上有する者	※ ①心エコー図 ②心臓カテーテル検査 ③トレッドミル ④R I 検査 ⑤その他 (1) 長期研修コース 下記(※)の①～④の疾患について、手術室と病棟での実際の研修、対外循環の理論と実際、ICUでの術後管理について研修を行う。 (2) 短期研修コース 下記(※)の①～④の疾患について、希望のものを選択し手術室とICUにて2週間の見学研修を行う。 ※ ①小児心疾患 ②弁膜疾患 ③虚血性心疾患 ④血管疾患
7 脳血管外科課程 (1) 長期研修コース (期間 3ヵ月)	(3) 1	(3) 1	脳血管障害の外科の診療経験を1年以上有する者	(1) 長期研修コース 脳血管障害の診断・外科治療の実際について、手術室・NCU及び病棟にて研修する。

研 修 課 程	定 員		受講対象者の要件	研 修 内 容
	第 1 回	第 2 回		
(2) 短期研修コース (期間 2 週間)	2	2	麻酔科の診療経験を 1 年以上 有する者	研修内容： 画像診断、脳血流測定、直達手術、血管内手術、ガンマナイフ、術後管理 (2) 短期研修コース 上記について見学研修を行う。
8 麻酔科課程	(3)	(3)		(1) 長期研修コース 循環器系疾患を有する患者の術前評価、術中術後管理法救急処置法を研修し、同時下記(※)①～⑥の研修を行う。 (2) 短期研修コース 下記(※)①～⑥のうち希望するものを選択し、2 週間の見学研修を行う。 ※ ①脳、心臓、血管外科手術の麻酔 ②心臓カテーテル、脳血管撮影等検査のための麻酔 ③各種モニター、検査機器の操作法 ④各種レスピレーターの操作法 ⑤病棟における救命処置法 ⑥ICUでの患者管理
(1) 長期研修コース (期間 3 ヶ月)	1	1		
(2) 短期研修コース (期間 2 週間)	2	2		

研 修 課 程	定 員		受講対象者の要件	研 修 内 容
	第 1 回	第 2 回		
9 放射線科課程 (1) 長期研修コース (期間 3ヵ月) (2) 短期研修コース (期間 2週間)	(3) 1 2	(3) 1 2	放射線科の診療経験を1年以上有する者	(1) 長期研修コース 主として下記(※)の①～③の検査について研修を行う。 (2) 短期研修コース 下記(※)の①～③の検査について、希望のものを 選択し、2週間の見学研修を行う。 ※ ①心臓血管撮影、循環器 I V R ②X線 C T、M R I、3次元画像診断 ③循環器核医学、P E T 診断
10 予防検診課程 (1) 長期研修コース (期間 3ヵ月) (2) 短期研修コース (期間 2週間)	(3) 1 2	(3) 1 2	集団検診の診療経験を1年以上有する者	(1) 長期研修コース 循環器病予防の検診技術を修得し、疾病予防の管理体系について、下記(※)①～④の研修を行う。 (2) 短期研修コース 下記(※)の①～④について、希望のものを選択し、 2週間の見学研修を行う。 ※ ①循環器検診の手技、判定 ②脳卒中、心筋梗塞の危険因子の調査方法、解析方法 ③高血圧、脂質代謝異常の生活指導

研 修 課 程	定 員		受講対象者の要件	研 修 内 容
	第1回	第2回		
11 周産期科課程 (1) 長期研修コース (期間 3ヵ月) (2) 短期研修コース (期間 2週間)	(3) 1 2	(3) 1 2	周産期科の診療経験を1年以上有する者	④循環器疾患予防の方策、体系化 (1) 長期研修コース 下記(※)の①～③について、病棟において研修を行う。 (2) 短期研修コース 下記(※)の①～③について、希望のものを選択し、2週間の見学研修を行う。 ※ ①心疾患妊婦、妊娠中毒症などのハイリスク妊娠の母体・胎児管理法 ②胎児病の診断、体内治療 ③周産期における新しい母体、胎児、新生児監視システム (1) 長期研修コース 主として循環器疾患の病理形態学的研修を行い、同時に下記(※)の診断法①～⑤の研修を行う。 (2) 短期研修コース 主として循環器疾患の病理形態学的研修を行い、同時に下記(※)の診断法①～⑤のうち希望するものを選択し、2週間の見学研修を行う。
12 病理課程 (1) 長期研修コース (期間 3ヵ月) (2) 短期研修コース (期間 2週間)	(3) 1 2	(3) 1 2		

研 修 課 程	定 員		受講対象者の要件	研 修 内 容
	第1回	第2回		
(12 課程)	(36)	(36)		※ ①病理解剖学 ②外科病理学 ③細胞診断学 ④特殊染色学 (免疫酵素抗体法も含む) ⑤電子顕微鏡法

Ⅱ 看護 師

研 修 課 程	定 員		受講対象者の要件	研 修 内 容
	第1回	第2回		
1 CCU課程	3	3	循環器疾患看護の経験を2～3年以上有する者	1 CCU（内科系心疾患集中治療室） CCUは内科系心疾患重篤患者を収容している。患者の呼吸、循環、代謝その他生体情報のアセスメントを行い、集中治療管理を研修する。
2 ICU課程	3	3		2 ICU（心臓血管外科集中治療室） ICUは緊急かつ重篤で治療効果の期待できる心臓血管外科系患者を収容している。術後の実際を通じて患者の呼吸、循環、代謝その他生体情報のアセスメントを行い、集中治療管理を研修する。
3 SCU課程	3	3		3 SCU（脳卒中集中治療室） SCUは急性期の脳卒中患者の救命を第一義的な目的として運営されている。患者の呼吸、循環、代謝その他生体情報及び意識障害、片麻痺など神経症状のアセスメントを行い、集中治療管理並びに急性期リハビリテーションの実際を研修する。
4 NCU課程	3	3		4 NCU（脳血管外科集中治療室） NCUは緊急かつ重篤で治療効果の期待できる脳血管外科系患者を収容している。術後の実際を通じて患者の呼吸、循環、代謝その他生体情報のアセスメントを行い、集中治療管理を研修する。

[illegible]

Ⅲ 診療放射線技師

研 修 課 程	定 員		受講対象者の要件	研 修 内 容
	第1回	第2回		
診療放射線課程	5	5	血管撮影装置、CT検査装置、MR検査装置及び核医学検査装置のうち1つ以上の設備を有する施設に勤務する者	下記の放射線検査項目①～④のうち希望のものを選択し、2週間の見学研修と講義を行い放射線検査技術の修得を図る。 複数選択は可能であるが、その際はどの検査項目に重点を置くかを受講者調書、もしくは研修理由書で明確にしておく。 研修項目 ①血管造影検査（心臓、脳、腹部末梢） ②CT検査（心臓、大血管、頭部） ③MR検査（ ” ） ④核医学検査（心臓、脳の SPECT 検査及び PET 検査）
(1 課程)	(5)	(5)		

IV 臨床検査技師

研 修 課 程	定 員		受講対象者の要件	研 修 内 容
	第1回	第2回		
1 臨床検査課程	(3)	(3)	臨床検査の経験を1年以上有する者	下記の臨床検査について、希望のものを選択し、実習を中心に専門技術の修得を図る。 ① 生化学、免疫血清、血液・止血、血中薬物濃度等の即時検査（診察前検査）対応 ② 臓器移植に関する免疫機能検査と感染症検査 ③ 輸血管理室業務 －安全な輸血を行うための検査管理システムについて ④ 病理検査の一般的技術と解剖介助 ⑤ ISO15189 認定に向けた臨床検査室構築
(1) 1ヵ月コース	1	1		
(2) 2週間コース	2	2		
2 生理機能検査課程	(3)	(3)	生理機能検査の経験を1年以上有する者	下記の生理機能検査について、希望のものを選択し、専門技術の修得を図る。 ① 心電図検査（トレッドミルによる負荷試験を含む） ② 心臓超音波検査 ③ 血管超音波検査 ④ 脳波、筋電図検査 ⑤ 末梢循環機能検査 ⑥ 呼吸機能検査
(1) 1ヵ月コース	1	1		
(2) 2週間コース	2	2		
(2 課程)	(6)	(6)		

V 臨床工学技士

研 修 課 程	定 員		受講対象者の要件	研 修 内 容
	第1回	第2回		
臨床工学技士課程 (2週間コース)	2	2	臨床工学技士の診療を1年以上経験している者	下記の臨床工学技士業務について、希望のものを選択し、実習を中心に専門技術の修得を図る。 ① 体外循環 ② 補助循環 ③ 補助人工心臓 ④ ME機器管理
(1 課程)	(2)	(2)		

受 講 者 調 書

医 師
 看 護 師
 診療放射線技師
 臨床検査技師
 臨床工学技士

研 修

(進達都道府県名：)

(研修実施施設名：国立循環器病センター)

1 受 講 者 氏 名	(男 ・ 女)		
2 生 年 月 日	昭和	年	月 日 (満 歳)
3 所 属 施 設	(1) 施 設 名		
	(2) 所 在 地	〒	
	(3) 連 絡 先	Tel. — — (内線)	
4 従事職務内容	現在の所属部署		
	従 事 職 名		
	具 体 的 な 職 務 内 容	(希望課程の経験及び関連機器の取扱経験等)	
5 経験年数 (うち研修希望課程)	臨床 (従事) 経験	年	ヵ月 (年 ヵ月)
6 卒 業	(1) 学 校 名		
	(2) 年 月 日	昭和・平成	年 月 日
7 免 許	(1) 番 号	第 号	
	(2) 登録年月日	昭和・平成	年 月 日
8 第 一 希 望	(1) 研 修 課 程		
	(2) 受 講 時 期		
9 第 二 希 望	(1) 研 修 課 程		
	(2) 受 講 時 期		
10 第 三 希 望	(1) 研 修 課 程		
	(2) 受 講 時 期		
11 都道府県の推薦優先順位			
12 添 付 資 料	(1) 所属施設長の推薦理由書 (施設長印のあるもの)		
	(2) 履歴書 (写真貼付のこと)		
	(3) 研修を希望する理由書 (具体的に)		

注 (1) 受講者調書及び添付資料は各2部 (原本) 提出のこと。

(2) 医師、看護師、診療放射線技師、臨床検査技師及び臨床工学技士の該当する職種に○印を付すこと。

(3) 「4 従事職務内容」欄の具体的な職務内容は、希望課程の経験及び関連機器の取扱経験等について具体的に記入すること。(欄が不足する場合は研修希望理由書に記入すること)

(4) 「5 経験年数」欄の () 内は研修希望課程の経験年数を記入すること

(5) 「11 都道府県の推薦優先順位」は都道府県が記入すること

(6) 「12 添付資料」はA4版とするが、様式は特に定めないので適宜作成すること
 なお、履歴書の記載内容として取得資格及び研修会等の受講歴も記入すること

(参考)

研修実施施設案内

(国立循環器病センター)

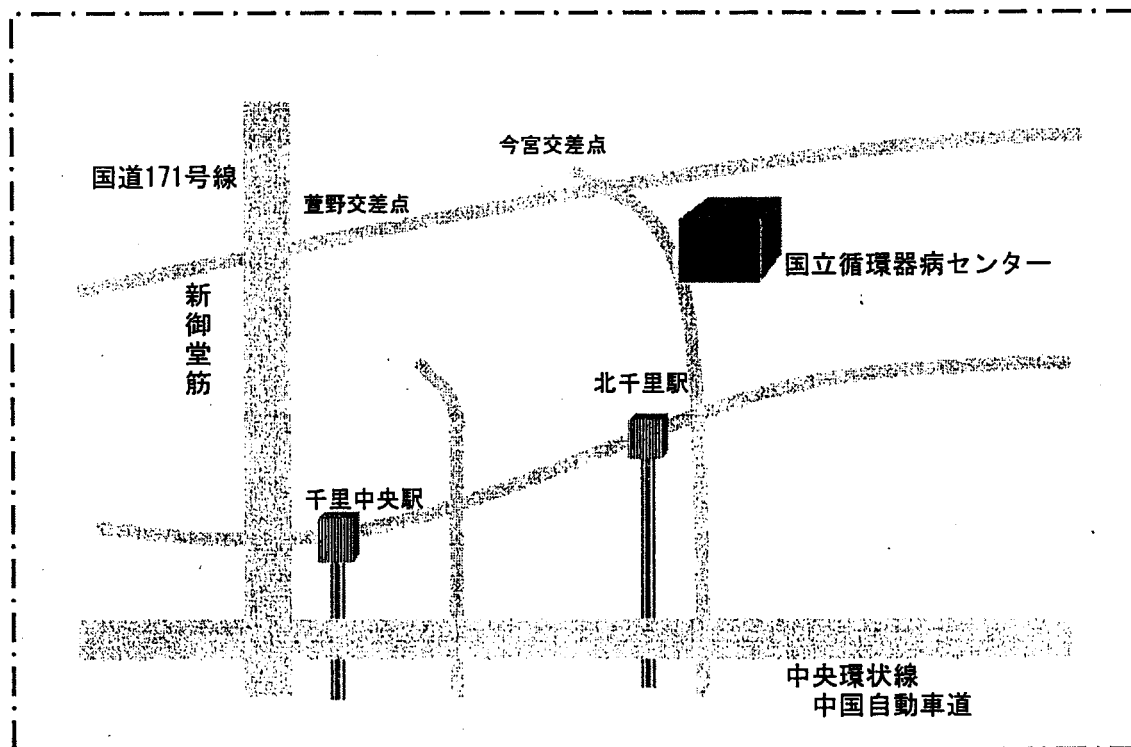
1 所在地及び連絡先

大阪府吹田市藤白台5丁目7-1 (〒565-8565)

国立循環器病センター 運営局政策医療企画課研修係

TEL 大阪 06-6833-5012

2 案内図



(交通)

○新幹線新大阪駅→地下鉄御堂筋線千里中央駅下車 ○大阪国際（伊丹）空港→モレール千里中央駅下車

千里中央駅→阪急バス栗生団地行循環器病センター前下車(15分)

○阪急電鉄梅田駅→千里線北千里駅下車→阪急バス粟生団地行循環器病センター前下車(5分)

※タクシー／千里中央駅から10分、北千里駅から3分(徒歩15分)

(参考図書)

メディカ出版 「CCU看護マニュアル」

「NCU看護マニュアル」

「SCU看護マニュアル」

II 「ICU看護マニュアル」

白総研「標準循環器疾患ケアマニュアル」

国立循環器病センター CCU看護部著

〃 NCU看護部著

〃 SCU看護部著

〃 ICU看護部著

国立循環器病センター 看護部

循環器疾患ケアマニュアル研究会著